

報道関係者様各位

株式会社アクティブ アンド カンパニー

## コスト削減と更なる組織学習を実現する

### 『教育研修施策内製化コンサルティング』

組織活性化に特化した組織・人事コンサルティングファーム：株式会社アクティブ アンド カンパニー（代表取締役 大野順也／東京都千代田区[以下、弊社]）は、2011年11月14日より、社員数300～1000名規模の企業を対象に、“コスト削減”と“教育研修の効果・効率向上”を支援する、『教育研修施策内製化コンサルティングサービス』の提供を開始いたします。

#### 【サービス概要】

『教育研修施策内製化コンサルティングサービス』では、昨今の不透明な経済状況を踏まえた“コスト削減効果”はもとより、弊社の得意領域である“組織開発”・“組織内コミュニケーションの活性化”を通して“恒常的な組織学習”に軸足を置いたコンサルティングサービスとしてリリース致します。

#### ●『教育研修施策内製化コンサルティングサービス』で期待できる効果

##### 教育研修の内製化で期待できる事柄

直接効果	費用面	■ 実施するカリキュラムの内容によって費用が変動せず、直接費用や外注費が発生しない
	内容面	■ 自社特有の状況や実際に職場で発生している事象に呼応した教材が準備できる ■ 自社内の暗黙知を形式知化することができる
	ノウハウナレッジ	■ 教育研修の実施・運用及び教育研修プログラムに関するノウハウやナレッジが蓄積できる
間接効果	組織開発	■ 社内で講師を立てて研修を実施・運用することで、組織の上下・斜め（また横）の関係性の強化に繋がり、ロールモデルの形成やOJTの有効化・高度化の一助となる
	人材開発	■ 「人に教える」という取り組みや活動を通して、講師側のスキルや能力の伸長を図る
	人材活用	■ 専門職人材やシニア人材の活躍の場が増える
	風土形成	■ 育成する風土・文化の形成や組織内の共通言語・共通認識の定着化を促進できる

人と組織の繋がりの是正・強化

恒常的な組織学習

関係強化

定着化

機能化

戦力化

## 【市場背景】

リーマンショック以降、不透明な経済環境が続く中、何れの企業においても、コスト削減は急務課題になっていると弊社では考えています。しかし、このような不透明な経済環境下においても、教育研修の外部化市場は 4630 億円にも上ることから、何れのクライアントにおいても、人材の強化・戦力化に対する関心が高いことが伺えます。

また近年、メールやインターネットを介したコミュニケーションの一般化・多様化が進む中、言葉や文章といった文字情報による情報伝達の利便性や容易性が高くなってきている一方で、表情や仕草などを通して情緒が垣間見られる、対面的なコミュニケーションの場面や機会が減ってきています。このような対面的コミュニケーションの希薄さから、組織内においては、コミュニケーション不全による社員の孤立化が進み、入社間もない社員の早期退職や社内失業、またメンタルヘルスクエアを必要とする社員も増加の一途を辿っています。

また、学術的な観点からみても、ビジネスパーソンがコミュニケーションに費やしている時間は、全労働時間の 70%とも言われており（出典／Essentials Organizational Behavior、ステファン・P・ロビンス）、組織活動におけるコミュニケーションの重要性が見て取れます。

そこで、弊社では、企業におけるコスト削減を実現することはもとより、“組織開発”・“組織内コミュニケーションの活性化”を通して“恒常的な組織学習”に軸足を置いた『教育研修施策内製化コンサルティング』を展開致します。

## ●『教育研修内製化コンサルティングサービス』の範囲と特徴

### 【サービス範囲】

教育研修の内製化に関する企画・設計～導入支援、研修品質管理までを一貫して支援いたします。

- ▶ 研修体系構築
- ▶ 講師育成（トレーナーズトレーニング）
- ▶ 研修プログラムの作成
- ▶ 内製化導入支援
- ▶ 研修運用支援システムの提供（アビリティマネジメントシステム）
- ▶ 研修品質管理

### 【主な特徴】

- ▶ クライアントのあるべき人物像に向けた教育研修をゴールに、各階層で求められるスキルや能力の整理と、それぞれに呼応した研修プログラムを作成します。
- ▶ 人材育成サイクル「機会」⇒「経験」⇒「気づき」を盛り込み、スキルや能力を習得し易い研修プログラムを作成します。
- ▶ 社内講師の育成を行うことはもとより、OJT の高度化・ロールモデルの形成を目的に、組織上の社内講師の位置付けや処遇の仕方の検討も行い、クライアントの実態に沿った運用方法を設計します。
- ▶ 研修プログラムで習得したスキルや能力、また研修の成果物、受講評価等を一元管理し、現場でのマネジメントと受講者のキャリア形成のもと情報を整理します。
- ▶ 研修の陳腐化防止や権威付けの維持、実施効果等を目的とした教育研修の品質管理を行います。

● 『教育研修施策内製化コンサルティングサービス』の全体像

		構築	企画	導入	実施	フォロー
研修体系		※各ランクや職種に求められる育成要件を抽出する <b>研修体系構築</b>	---	---	---	---
研修プログラム		※育成要件に沿った研修プログラム(5年単位の長期研修用・事前課題プログラムの実行リスト等)を構築する <b>研修プログラム作成</b>	※対象期間に実施する研修プログラムの実施スケジュールを決定する	※実施する各研修プログラムの最終調整を行う	※各研修プログラムの評価を行う	※各研修プログラムの改修箇所を明確にする ※各研修プログラムの改修を行う
講師(ファシリテーター)		※講師の選定・育成方法を決定する <b>トレーナーズトレーニング</b>	※各研修プログラム毎に講師の育成・教育を行う	※実施する研修プログラム及び受講者に関する準備 <b>内製化導入支援</b>	※講師の評価を行う <b>研修品質管理</b>	※改善所を明確にする ※講師の再教育を行う
教育研修の全体像	受講者支援	---	---	※導入意図を伝える ※事前課題を案内する	※受講者評価を行う ※研修アンケートを実施する	※研修報告書を作成する ※受講後テストを行う ※受講者の次期課題を明確にする
	社内調整	---	※受講者の選定・選出を行う ※受講者管理を行う	<b>アビリティマネジメントシステム</b>	※職場に受講後の報告を行う ※実施後アンケートを行う	

● 弊社独自のフレームワークによる内製化

- 本コンサルティングサービスでは、弊社独自のフレームワーク「浸透・定着のPDSスクエア」を用いて内製化を実現します。
- 「浸透・定着のPDSスクエア」とは、心理学者 K.レビンが提唱した人間行動の基本関係式をベースに、弊社が独自にアレンジした教育研修を組織や現場に浸透させるためのフレームワークです。

※人間行動の基本関係式

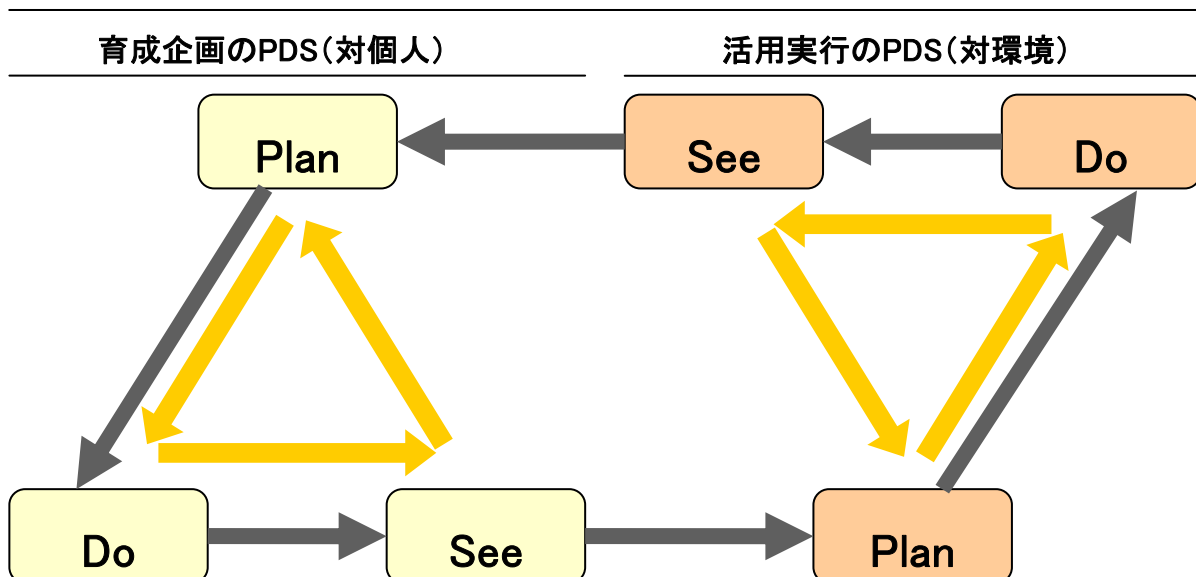
人間行動の基本関係式は  $B = f(P, S)$  とされています。

B (Behavior) = 行動

P (Personality) = 個人・人柄

S (Situational) = 環境・状況

『浸透・定着のPDSスクエア』



### 【弊社の今後の活動他】

厚生労働省『能力開発基本調査』（2008年）によると、社員数が300名を超える企業では、教育研修委託費の割合が低下する傾向にあり、コスト削減という観点からも、300名を超える企業が、研修を内製化することにより最大のメリットを得られると弊社では認識しています。

弊社では、社員300～1000名の企業を対象に『教育研修内製化コンサルティングサービス』を展開し、2012年3月末までに10社への導入を目指します。

### 【広報に関するお問合せ先】

株式会社アクティブ アンド カンパニー  
コーポレート本部 広報企画担当：丸山・高宗  
TEL/03-6231-9505 FAX/03-6231-9506  
e-mail/aac-pr@aand.co.jp

### 【会社概要】

会社名：株式会社アクティブ アンド カンパニー  
住 所：東京都千代田区九段南 3-8-11 飛栄九段ビル 5階  
URL：<http://www.aand.co.jp/>  
主事業：アクティベーションマネジメントによる組織活性化コンサルティング業  
（組織・人事コンサルティング業）  
代表者：代表取締役 大野 順也（おおのじゅんや）  
設立年：2006年1月5日  
資本金：1000万円

### 【代表者略歴】

大野 順也 （ おおの じゅんや ）

株式会社パソナ（現パソナグループ）の営業を経て、営業推進、営業企画部門を歴任し、同社の関連会社の立ち上げも手掛ける。後に、トーマツ コンサルティング株式会社（現デロイト・トーマツコンサルティング株式会社）にて、組織・人事戦略コンサルティング業務に従事し、2006年1月に『株式会社アクティブ アンド カンパニー』を設立し、代表取締役に就任。現在に至る。